

都市景観形成の基本方針

都市景観形成の基本目標

山なみと一体となった緑豊かなまちをつくる
自然と文化のあふれる良好な住宅地を育む

箕面らしさを表現する

風景をつくる

まちなみを育む

公園・広場の景観デザインの技法

1.地域特性にあわせてデザインする

- 1.活気あるデザインを施す
- 2.文化の感じられるデザインを施す

2.効果的な緑のデザインを施す

- 1.山なみへの眺望をまもる
- 2.周辺の緑と一体感のあるデザインを施す

3.まちかどをデザインする

- 1.まちかどをデザインする

- 人が集まるデザインを施し、人間活動を景観にとりこむ
- アート感あるデザインを施す
- 彫刻やモニュメントで文化の香りをだす
- 眺望を楽しめる場所をつくる
- 植栽で眺望をさえぎらない
- 植栽で眺望をさえぎらない
- 周辺の緑を考慮して植栽量や植栽方法を考える
- 花の咲く木や実のなる木を植える
- 地域特性に応じて樹種を選定する
- アイ・ストップをデザインする
- まちかどを広場にする

